

救える命を救う！

SIP防災 OKINAWA シンポジウム

～熊本地震から考える防災DX～



会場定員

先着 **100**名

入場無料

2026 **10.7** WED.

会場 &
オンライン
にて

ハイブリッド開催

時 間

13:00～16:00

会 場

沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)
那覇市おもろまち3丁目1-1

SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)第3期「スマート防災ネットワークの構築」サブ課題C「災害実動機関における組織横断の情報共有・活用」では、災害現場の最前線において、消防や警察等の実動機関が情報共有・活用を図るためのシステム群を開発中である。本シンポジウムは、昨年実施した総合検証訓練「SIP防災OKINAWA2025」の成果や、災害現場DXの最新技術検証について広く共有し、また、実動機関が災害現場の最前線で円滑に情報共有するシステムの運用面での課題を議論することを目的とする。併せて、検証訓練で得られた成果を沖縄県下の実動機関および自治体等に共有することで、沖縄県における防災DXの推進に貢献することを目指す。

PROGRAM & GUEST SPEAKER

【第1部:基調講演】

『災害対応と多機関連携』

小林 茂

日本生命保険相互会社 上席特別営業顧問
元陸上自衛隊第15旅団長、初代陸上総隊司令官、元東京都危機管理監

【第2部:SIP防災OKINAWA2025実施内容説明・技術検証報告】

伊勢 正

防災科学技術研究所 研究統括

大和田 泰伯

情報通信研究機構 研究マネージャー

翁長 由佳

株式会社サンダーバード 代表取締役

【第3部:パネルディスカッション】

テ マ:災害実動機関における組織横断の情報共有・活用と現場DXの展望

パネリスト:吉本 直樹(熊本市消防局 中央消防署警防課 政策監)

(順不同) 加古 嘉信(株式会社減災ソリューションズ 代表取締役社長 元警察官)

廣恵 次郎(GMOインターネットグループ株式会社 本部長 元陸上自衛官)

一條 正浩(海上保安協会 常務理事 元海上保安官)

横田 勝彦(東京電機大学 研究コーディネーター 災害医療有識者)

モデレーター:伊勢 正(防災科学技術研究所)

※プログラムの内容は予告なく変更される場合がございます。

※誠に恐れますが、本シンポジウムでは手話通訳および要約筆記の配置はございません。



シンポジウム参加のお申し込みはこちらから

オンラインでの参加をご希望の方へは
当日までに参加URLをご連絡いたします。

KEYNOTE SPEECH 基調講演



日本生命保険相互会社 上席特別営業顧問
元 東京都危機管理監

小林 茂(こばやし しげる)

【略歴】

防衛大学校卒業後、陸上自衛隊に入隊。第15旅団長(那覇)、第3師団長、中央即応集団司令官等を歴任し、2018年3月に陸上自衛隊を一元的に作戦指揮する初代陸上総隊司令官に就任。退官後、2018年10月より東京都危機管理監を務め、首都直下地震を見据えた防災体制の整備や新型コロナウイルス感染症危機管理対応等を主導。現在は日本生命保険相互会社 上席特別営業顧問。大規模災害における自衛隊・自治体・民間等の実動機関連携と危機管理の第一人者。

PANELIST パネリスト



熊本市消防局 中央消防署警防課 政策監

吉本 直樹(よしもと なおき)

熊本市消防局にて長年現場対応に尽力。平成28年熊本地震や九州北部豪雨での救助活動等数々の現場経験と政策立案に携わり、大規模災害における消防体制の構築と運用を主導。最前線の消防活動で培った知見に基づき、現場における迅速な状況把握と多機関連携を実現するための組織横断の情報共有・活用および現場DXの展望を提言する。



株式会社減災ソリューションズ 代表取締役社長 / 警察庁技術アドバイザー

加古 嘉信(かこ よしのぶ)

元警察庁警視。警察庁災害対策室、広域緊急援助隊、国際緊急援助隊として新潟県中越地震や東日本大震災等数多くの災害現場を経験。25年に及ぶオペレーション実務と警察業務DX化推進の知見を生かし、現在は減災ソリューションズ代表として実動機関の連携やデジタル技術を活用した防災・減災支援を牽引する。



GMOインターネットグループ株式会社 グループサイバー防衛事業推進本部「6」本部長

廣恵 次郎(ひろえ じろう)

陸上自衛隊最上位階級陸将として、陸上自衛隊教育訓練研究本部長、通信学校長等を歴任。数々の大規模災害対応における通信基盤の確立や指揮統制の現場指揮に携わる。自衛隊の通信・システム・サイバー分野の第一人者として培った知見と民間の最新IT技術を融合させ、災害実動機関における多機関連携と現場DXの展望を提示する。



公益財団法人海上保安協会 常務理事

一條 正浩(いちじょう まさひろ)

海上保安庁にて、現場の警備救難業務から本庁幹部職まで幅広く歴任。第十一管区海上保安本部長として、広大な海域における領海警備や海上での大規模災害・事故対応の最前線を指揮した。海上の最前線で培った実務経験に基づき、陸上の関係機関(自衛隊・警察・消防等)との組織横断的な情報共有・連携強化および現場DXの展望を提言する。



東京電機大学 システムデザイン工学科 研究コーディネーター

横田 勝彦(よこた かつひこ)

災害派遣医療チーム(DMAT)や災害医療の最前線において、多数傷病者対応や医療救護活動の調整・支援に長年従事。現在は東京電機大学にて災害医療情報やドローン等の医療防災テクノロジーの活用研究を推進。医療現場の視点から、限られた医療資源を最大化するための実動機関との情報共有・DX推進を提言する。